



修身小學

上

和装本

口七
644
1



明治六年五月新刻

澤井甕平譯

脩身小學

全二冊

育德堂藏



福田大福

自序略

此ノ小冊ヲ公刊スル旨趣ハ小學校又ハ

テ幼童ヲ教育スルタメニ備ヘントスルモノニ

シテ專ラ修身齊家ノ大義ヲ諭サントス然レバ

夫ノ修身ノ學素ヨリ深奥厚長ナルモノナレバ

何ゾ此小冊ヲ以テ足レリトセン只其初端ヲ開

ミ抑童子ヲ教育スルニ經書ヲ講ジ格例ヲ

示シ及ビ善行ヲ習熟セシムルノ三方アリ其實



明治六年八月九日 福田大福 氏寄贈

効ヲ考フルニ習熟ヲ第一ノ良方トシ格例ヲ其
次トシ經書ヲ又其次トス然レノ私家ノ教育固ヨ
リ欠ク可カラザルモノナリ究竟人心ヲ正道ニ
導クハ經書ニアラザレバ得ベカラズモシ此理
ニヨリ此書ヲ見ル片ハ只小補アルノミ
今吾輩此書ヲ編述スルハ實効ヲ主トシ大綱ヲ
習ハシメント欲ス故ニ德誼ヲ講説スルニ論義
ヲ次トメ專ラ先哲ノ傳記及ビ名家ノ作セル小

説ヲ以テスル體裁ナリ且ツ輕易ノ文字ヲ用ヒ
テ了解シ易カラシメ勉メテ師父ノ勞ヲ省カン
ト欲スト云爾

明治六年四月

澤井覺平譯

凡例

- 一 原本ハ英國ノ「チャムブル」氏ノ編述ニシテ彼邦一千八百七十年ノ刊行ニ係ル
- 一 教科ヲ分テ二十九部トナシ部初ニ各大義ヲ論シ且ツ之ニ數箇ノ例ヲ附シ以テ本意ヲ解明ス即チ
- ①②③ヲ記スルモノ是ナリ
- 一 貨幣尺度人地名稱等原語ヲ用フルモノハ其下ニ註解ヲ加フ世人既ニ習レ知リタルモノハ之ヲ省ク通編專ラ意味詳解ヲ主トシ敢テ文辭ヲ飾ラズ勉メテ原意ヲ失ハザルヲ要スレバナリ

修身小學

卷之上目次

- 第一 禽獸款待
- ① 童子及蛙ノ話
- ② 「ゼー」ムス「弟」ロベルトヲ論ス
- 第二 親族交際
- ① 鼠孝ヲ知ル
- ② 「アナピアス」アムヒノモス兄弟ノ事
- ③ 「アレキサンドル」母ニ孝順ナル事
- ④ 亭國ノ王「アレデリツキ」扈從ノ孝心ヲ感

テ金ヲ與ヘシ

⑤ 箴言三節

第三 貴賤交際

- ① 「アルホンソ」下ヲ仁愛スル
- ② 褒賞ヲ吝ムハ失誤ナル
- ③ 「マリール」ノ
- ④ 「プランキユス」主従ノ
- ⑤ 家僕生命ヲ捨テ、主ヲ助ケタル

第四 勤勞

- ① 農夫其子ニ遺訓ノ職業ヲ厲マセシ

- ② 伊太里人「クレシ」農業ニ勉強シタル

- ③ 「フランクリン」小傳

- ④ 「プール、リチャード」ノ抄出

第五 自勉自頼

- ① 一車丁「ヘルキール」ニ助力ヲ願ヒタル

- ② 雲雀ノ話

- ③ 「ロベルト、イーン」ノ略傳

- ④ 來往ノ別

第六 精神存在

- ① 二婦反對ノ例

- ② 少女疵傷ヲ救ヒタル事
- ③ 「テウエル」ノ事

第七 小心注意

- ① 星學家ガツセン「ヂ」ノ事
- ② 米國ノ一土人ノ事
- ③ 「カルロン」ノ少年水手ノ事

第八 謙遜

- ① 大學士「ユートン」ノ小傳
- ② 「ヲクスホルド」大學ノ一生徒ノ事

第九 禮義

- ① 「ペルシヤ」ノ一農夫ノ事
- ② 佛王「ロイス」第十四世ノ事
- ③ 「エッヂソン」ノ説

第十 飲食節度

- ① 「ロイス」コルナ「口」壽樂ヲ得タル事
- ② 「ジヤツク」シン「プキン」ノ事

第十一 健康保守

- ① 濕地ニ居住ノ病ニ罹レル事
- ② 飲食不化ヲ療ズル最良方
- ③ 壯者感冒ヲ押シテ死シタル事

④「ヒリツテ、シツドニ」ノ諭言

第十二 守分知足

① 高貴ノ人ノ不足ヲ憂フル事

② 學士「リス」ノ説

③ 「モンタジラン」ノ説

卷之下目次

第十三 節儉

① 大家節儉ノ例

② 「ハーフクロイン」ノ價

第十四 慈善

① 「ホワトド」ノ事

② 「ヒリツテ、シツドニ」戰死ノ事

③ 「ドルモン」ノ事

④ 「ゼ子ラル、コシッシュ」ノ事

⑤ 日々ノ務

第十五 堪忍

① 「スコレ」テスノ事

② 稀異ナル堪忍ノ例

③ 惡ニ報ユルニ善ヲ以テスル事

第十六 温和

- 「シ」ヨーゼフ、ホルド「徒刑ヲ使役スル」
- 「アル」ホンソノ「吏」
- 第十七 什具ニ就テノ良心
- 「ミ」ラン「守門者ノ」
- 「リ」ヨナルドノ「吏」
- 「モ」セス、ロツスキルドノ「吏」
- 第十八 名譽ニ就テノ良心
- 「ス」コレ「テ」宛死ノ「吏」
- 第十九 生徳ニ就テノ良心
- 「フ」ラン「ス」ノ「シ」ヤクワイル「一」揆ノ「吏」

- 第二十 務ニ就テノ良心
- 「大」統領「ワ」シント「ン」ノ公直ナル「吏」
- 「法」官「ガ」スコイ「ン」ノ「吏」
- 第二十一 負債ニ就テノ良心
- 「バ」レー「ス」族ノ「吏」
- 「ウ」ルリント「ン」族ノ「吏」
- 第二十二 姦利ニ就テノ良心
- 「シ」ヨ「ン」テ「ト」ノ「吏」
- 第二十三 商賈ニ就テノ良心
- 「廉」直ナル小厮ノ「吏」

③ 火藥交易ノ詔

第二十四約束ヲ遂ル良心

① 「ムール」人「スペー」人ヲ助ケタル事

② 佛國ノ王「ジョー」ノ事

第二十五惡業ヲ戒シムル良心

① 象ト裁縫匠トノ事

第二十六誠實

① 虚言ニ由テ狼害ヲ取りシ僮

② 「ロベルト」及「フランク」ノ事

③ 「ホルホルド」ノ事

④ 「ヘレニ、ワルコル」ノ信義ノ事

第二十七大量

① 「マセドニヤ」ノ王「ヒリッ」寛裕ナル事

② 英王三世「ウヰルリアム」ゴトルロ「シ」族ヲ懐ケ

タル事

③ 「ハバンナ」ノ鎮尹大器ナル事

第二十八義勇

① 「グレース、ダルリング」ノ事

第二十九懐國

① 「テミストータル」ラセドモニア「ノ」軍艦ヲ焚

カントシタル夏

③「カライス」ノ報國士ノ夏

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



修身小學卷之上

第一禽獸款待

澤井梵平



蠅 蠅 牛 蛙 ノ 如 キ ハ 無 毒 ノ 昆 蟲 ニ テ 同 ジ ク 大 氣 中 ニ
ハシ 生 ヲ 稟 ル モ ノ ナ リ 徒 ニ 一 小 物 ト シ テ 苟 且 ニ 之 ヲ 捉
カス へ 之 ヲ 踐 デ 殺 ス 者 ア リ 是 レ 暴 行 ニ シ テ 人 ノ 為 ス ベ
キ 所 ニ 非 ズ 何 ント ナ レ バ 之 ヲ 殺 シ テ 益 ナ キ ノ ミ ニ
非 ズ 慘 酷 ノ 所 為 習 慣 ト ナ リ 終 ニ ハ 殘 忍 亡 頼 ノ 性 ト
ム ナ リ 人 ヲ 傷 害 ス ル モ 輕 シ ト ス ル ニ 至 ル 我 レ 若 シ 虎
狼 ノ 如 キ 猛 獸 ニ 遇 ハ 何 如 ノ 其 齒 牙 ヲ 避 シ ヤ 彼 小

蟲ノ我カ兇惡ヲ畏ル、モ亦如是ナルヲ顧ミルベシ
 禽獸ヲ畜フニハ必ズ之ヲ愛養シテ餌食ニ飽カシメ
 起卧宜シキニ適シ任外ノ勞ヲ苦使スルヲ勿レ牛馬
 ノ行步遲キヲ責メテ之ヲ策ウツハ人情ニ欠ル所有
 テ思ヒノ足ラザルナリ其歩ノ遲鈍ナルニ當リテハ
 老衰或ハ勞使ニ過キ或ハ餌食ノ不足ニ注意スベシ
 人ノ用ニ中リテハ禽獸ヲ殺サヅルヲ得ズト雖モ戲
 弄シテ多ノ苦痛ヲ受シム可ラズ勉メテ屠殺ヲ速カ
 ニスベシ庖丁モ此ニ人情ヲ関セザルベカラズ

○童子及ビ蛙ノ話

幼童數人池邊ニ來リ戯レ相共ニ瓦石ヲ拾ヒテ池中
 ニ投入シカ群蛙之ニ擊レテ大ヒニ驚キ苦シミ如何
 トモ為スベカラザル体ナリ少焉アリテ一蛙奮然ト
 シテ水上ニ跳リ出テ眼ヲ睜ラシ口ヲ張テ曰汝等尚
 幼少ニシテ斯ク惡業ヲ為ルハ何ノ故ヲ願クハ磔ヲ
 投ル勿レ兒輩答テ云敢テ惡業ヲ為ルニ非ズ我只戲
 レ遊フナミ蛙曰然リ然レ氏汝カ戯レ遊フ所我徒ノ
 亡滅ヲ致スニ至レリ

③「ゼームス」弟「ロベルト」ヲ諭ス事

「ゼームス」「ロベルト」ノ兄弟ハ伶俐ナル性質ナリシカ

兄ハ七歳第八五歳ノ時野外ニ逍遙シタリシニ路傍ノ栽^{イゲ}端ニ鳥ノ巢ヲ懸タルアリ「ロベルト」走り近ソキテ捉ヘントセシカ母鳥ハ驚キテ飛ヒ去リタリ「ゼー」ムス「透^ズテ制シテ云ク曩者父ノ宜ヘリシ言アリ鳥ノ巢ヲ奪フハ惡業ナリ蓋シ血氣アルモノ子ヲ愛スルノ情我カ父母ノ我儕ヲ愛スルニ異ナル」ナシ今汝雛鳥ヲ奪ハ、親鳥ノ哀傷ハ人ノ父母ノ子ヲ失ヘルニ均シ且其雛ハ親ノ哺^{ハダ}育ニアラザレバ死スル「必セリ斯ル殺生ヲセンヨリハ子母ヲ全クメ巢中ニ羽翼ヲ生ゼシメ翺^{トヒカケリ}翔自ラ樂シムルニ如カズ違ニ兎ノ

父牆内ニアリテ此話ヲ聞キ外ニ出テ來リテ曰ク汝等^等真成ニ善性ナリ鳥ニ忍ビザルハ小事ナリト雖^ヒ彼不辜ヲ殺ス夫耻ザルハ小事ニアラズ猶後來ヲ慎メヨト是レ幼少ヨリ慘酷ノ心存スレバ成長ノ妄惡無道ノ人ト為ルヲ恐ル、ナリ

第二親族交際

天下ノ交リ禮讓ニ因ルハ人ノ要務ナリ通^ツク父母兄弟姊妹ノ間尚然リ父母ノ子ヲ養フヤ慈愛至ラザル所ナシ以テ生育長大ナル「子ヲ得ルナリ故ニ子タル者苟モ此恩愛ニ報ズル」ヲ忘レズ父母ヲ尊敬シ一

トノ其教ニ違フコナキヲ佳トス兄弟姉妹ハ幼孩ヨ
 リ棲ヲ同フシ飲食戲遊ヲ共ニセシモノナレオホキバ常ニ
 相親ミ相睦マジウセザルベカラズ然ル寸ハ人之ヲ
 稱賛セザルハナシ若シ相互ニ和セズシテ喧嘩ヲ為
 ス者ハ人之ヲ賤シム是ヲ以テ族類親睦ナルハ他日
 福祿ヲ招クノ一端トナル幼少ノ時ヨリ此良種ヲ蒔
 ツケル片ハ其益大ナリトスベシ

① 鼠孝ヲ知ル事

鼠ノ損害ヲ為ス人ノ憎ム所ニシテ常ニ弼ニオトシ
 或ハ毒藥ヲ以テ之ヲ殺ス然レ親ヲ敬スル一例アリ

近頃ニウヨルクノ商船葡萄酒ヲ得ニ為メリスボ
葡萄ノ航スル時船中ニ鼠蕃息シテ食物器什ヲ毀
 害スルコ夥シリスボニ着セシ片硫黄ヲ薰スベテ
 之ヲ驅逐レ殺シ盡サントヒシニ一鼠アリテ背ニ又
 一鼠ヲ負テ跟踏トシテ甲板ニ出タリ衆人異ンテ熟
 視スルニ負ハレタルモノハ老鼠ト思シテ兩眼已ニ
瞽タリ負フモノハ子鼠ナルベク今日危難ノ場ニ臨
 ミテ親鼠ヲ無害ノ地ニ避ケシメント欲スルコ疑ヒ
 ナシト衆人感嘆シテ鼠スラ斯ク親ヲ尊フノ心アリ
 トテ放チテ殺サミリシハ亦孝徳ノ獸類ニモ及ベル

ナリ

③「ア」ナピアス「ア」ムヒノモス兄弟ノ事

火山ハ巔ニ孔穴アリテ時々岩石ヲ迸飛シ火烟ヲ噴
 出シ其勢猛烈ナル者ナリシ、リ「」ノエト「」山ハ火
 山ノ一ニシテ数百年前割裂セシ時近境ノ市街村落
 盡ク壓没セリ居民此難ヲ避ントテ皆貨財ヲ負擔シ
 テ四方ニ遁ケ奔リケルニ「ア」ナピアス「ア」ムヒノモス
 兄弟ハ財寶ヲ輕ニスルニ非レトモ之ヲ顧ミルニ遑
 アラス各ク父母ヲ負ヒテ遁レケレハ人見テ贊美セ
 ザル者ナシ災害鎮リテ後立還リ視レハ家屋押ナヘ

テ壊敗セシニ稀異ナル哉彼兄弟ノ通行シテ逃レタ
 ル處ノ田畑草木ハ天災ヲ免レ依然トメ存在セリ衆
 皆驚歎メ是レ天彼等ノ孝心ヲ感メ致ス所ト為シ此
 地ヲ孝郷ト稱シテ今ニ至ルマデ美名ヲ遺セリ

③「ギ」リ「キ」大王「ア」レ「キ」サ「ン」ド「ル」母ニ孝順ナ

ル事

父母嘗テ暴惡無道ナリト雖「」子タル者之ヲ尊敬セ
 スン「」バ「ア」ルベカラズ往古希臘ノ哲王「ア」レ「キ」サ「ン」ド
 ルノ母ヲ「ア」リム「ピ」ア「ス」ト云フ性質苛烈ニメ頗ル豪
 氣アリ王東國ヲ征スル時留守官「ア」ン「チ」ヘ「ト」ルニ

國事ヲ任シ母ニ珍器寶物ヲ獻シテ敢テ國事ニ關係
 スル勿レト請フ母之ヲ聽カズ反テ王ヲ不遜ナリト
 怨ミ憤リテ益威權ヲ擅マ、ニシテ暴行多カリケレ
 バ「アンチペートル」之ニ堪ヘズ過度ノ件々ヲ記シテ
 母ヲ諫メン「王ニ歎キ懇ヘシカバ王私カニ歎息
 シテ曰「アンチペートル」ハ忠ト云フベシ然レモ未ダ
 我カ心ヲ察セズモシ母ノ淚一滴ヲ注カバ六百ノ簡
 書モ一時ニ消失スルニ足ラント

④ 寺漏私ノ哲王「フレデリツキ第一世扈從ノ
 孝心ヲ感レテ金ヲ與ヘシ也

寺漏私ノ哲王「フレデリツキ第一世一日呼鐘ヲ鳴ラ
 シテ扈從ヲ召ス「數々スレモ來ラズ興シミテ自カ
 ラ起テ扈從ノ居ル所ヘ往テ見ルニ扈從ハ熟睡シテ
 覺ズ其懷ヨリ書狀ノ落カ、リアリケレバ王把テ之
 ヲ讀ムニ彼モノ、母ヨリ來レルニテ給料ノ中若干
 ノ金ヲ贈リタルヲ喜ヒ謝シテ細密ニ情曲ヲ寫シ其
 末ニ汝ノ如キ孝心ヲカキモノハ他日天ヨリ厚福ヲ
 賜フ「アルベシ我日々之ヲ祈ルト有シカバ王大
 ニ母子ノ孝慈ヲ感シ密カニ此書ニ金貨一百圓ヲ附
 テ扈從ノ懷ニ返ヘシ置キ居室ニ入テ劇シク呼鐘ヲ

鼓子立ケレバ彼者驚キ覺テ王ノ坐下ニ來リ失錯ヲ
謝スル間ニ忽チ懷中重クシテ大金ノアルヲ見テ大
ニ驚キ周章シテ為ル所ヲ知ラズ號泣シテ倒レタリ
王曰汝何故斯ノ如ク泣ヤ曰ク奴彼處ニ眠リシ時誰
カ奴ガ懷ニ莫大ノ金ヲ納レタリ是レ他ナン奴ヲ罪
ニ陥ントスル惡徒アリテ斯ル姦計ヲ施セルナラン
嗚呼如何ノ此難ノ明白ナルヲ得ンヤト潛々長息哀
シミケレバ王笑テ曰憂ル勿レ朕屢睡中ニ上帝ノ惠
賜ヲ受ルヲアリ嘗テ聞ク汝母ニ孝ナリ汝モ亦上帝
ノ賜ヲ被リシニ疑ヒ無シ汝其金ヲ母ニ遺リ且ツ朕

ノ言ヲ傳ヘヨ他日朕必汝母子ヲ撫恤スベシ後來猶
努力セヨ

⑤箴言三節

人長ク壽命ヲ保セント欲セバ必ず父母ヲ恭敬スベ
シ父母ヲ尊嚴スルハ天ノ祐クル所ニテ壽命ハ天ノ
賜アレバナリ思ヘテ不孝ニテ親類貧乏
嘉肴美酒トイヘトモ狠惡不順ノ黨ニ食フ片ハ其味
甚タ苦シ蔬食菜羹ト雖モ温和莫逆ノ家ニ食フ片ハ
其味甚タ甘シ
戶外ニ何ナル騷擾アリトモ屋内ニ鬩爭アルベカラ

ズ姉妹ノ住ム所兄弟ノ會スル所必穩和ナルヲ要ス
鳥ノ巢中ニ群スルヤ親シミ睦シフス况レヤ人類ヲ
ヤ

第三貴賤交際

人生ニ知アリ愚アリ博識アリ不學アリ貴賤貧富ノ
別亦從フテ有サルヲ得ズ王公大夫ハ概シテ農工商
賈ヨリ貴ク才能學カモ勝レルモノニメ役夫奴隸ヲ
下等トス農商ノ中ニハ貧富アリテ富タルモノハ許
多ノ傭夫ヲ使役シ以テ大業ヲ為ス又許多ノ地ヲ領
シ地稅ヲ以テ衣食スル者アリ之ヲ地主ト稱ス富ヲ

以テ貴ハル、モノナリ如是人ノ品等ハ天稟ノ知愚
及ヒ學問ノ多寡ニヨリテ致ス所ニシテ各人皆其分
ニ安レシテ凌ギ犯スベカラズ故ニ賤シキ者ハ貴キ
モノヲ敬シ愚ハ知ニ隨フハ其常ナリ然レニ尊敬ス
ルニ諂諛阿順ナルハ羞ヅベク慎シムベキナリ人々
ルモノ何ホド卑賤ナリトモ自由自主ノ權同一ナラ
ザルハナシ故ニ上ナル者自カラ恭敬シテ卑賤ヲ撫
育セズハアルベカラズ卑賤ナリト雖モ其得ル所ノ
能アリテ其識ヲ見ハス至リテハ貴人之ヲ重ゼザル
ヲ得ズ貴重ナリト雖モ驕慢ヲ逞マシクシ下ヲ輕侮

スルハ永ク其位ヲ有ツ能ハザルナリ下タル者故ナ
クシテ上ヲ凌クモノハ未ダ之アラズ假令バ傭夫ア
リ幾許月ニ若干ノ賃錢ヲ約シ財主ニヤトハレタル
時彼夫其勞作ヲ為スハ勿論ナレモ主人苛酷ニ使役
スルハ隙ヲ竊ミ怠リテ其工作果ノ功ヲ成ザルモノ
ナリ若之ヲ接待スル寛裕ナレバ其慈愛ニ感ノ勞苦
ヲ甘ンジ傭賃ノ外ニ報酬ノ意アリテ其業ヲ深切ニ
為スカ故ニ課程速カニ成ナリ往古ヨリ奴僕主人ノ
慈愛ノタメニ命ヲ抛キテ其主ヲ助ケタル例數々ア
リ

文明開化ノ國ニテ奴婢ヲ抱ヘ傭フニ期限一年ニ過
ズ期滿ル之日故ノ如ク放解放スレドモ他國ニテハ然
ラス「スレーフト」云フ一種ノ奴隸部多クアリテ生涯
自由ヲ得ザルナリ主人之ヲ見ル「犬馬」ノ如クニメ
之ヲ賣買スル「雜物」ニ異ナラズ其辛苦推シテ知ル
ベシ如是人間ヲ束縛勞役スルハ人間ノ通義ヲ破リ
無道ノ甚シキナリトテ學士等屢論シタレドモ未ダ
全ク止ムニ至ラズ天ノ人ヲ愛スル豈ニ奴隸ヲ外ニ
センヤ無知ノ黒奴猶且寛裕ノ主ニ事フル者必ス其
主ヲ敬シ忠ヲ懐クモノアリ

①「アルホンソ」下ヲ仁愛スル也

「シ、リ」子「プ」兩國ノ王「アルホンソ」ハ下ヲ仁愛
 撫育スルヲ以テ常ニ賛美セラレタル人ナリ一時王
 親カラ兵ヲ卒ヒテ敵ヲ追フニ道ニ大河アリ敵兵此
 ニ扼シテ防禦セリ險ニシテ渡ルベカラズ兵糧ヲ運
 フ者モアラザレバ士卒飢ニ臨メリ一軍稍食卓ヲ備
 ヘテ王ニス、メタルキ王大ニ喜ニテ勞ラヒテ云飢
 渴已甚シキハ兵士皆我が如クナルベシ彼等ノ飲食
 備ハラザルニ何ゾ我獨り飽クヲ欲ントテ赤心ヲ
 下ニ推ス「是ノ如シ爾後王微カニ「カムパニア」ヲ旅

行セシニ一夫驢馬ヲ牽ク者ニ逢ヒレガ驢過リテ淖
 中ニ陷リタリ彼夫扶ケ舉ントスル力足ラズ助勢ヲ
 往來ノ人ニ乞ヘドモ之ヲ顧ミルモノナレ會王ノ來
 ルヲ見テ貴人トハ知ラズ助力ヲ頼ムト呼ハリシカ
 ハ「アルホンソ」直チニ馬ヨリ下リ容易ク驢馬ヲ曳キ
 上ケタリ於是始メテ王ナルヲ知リテ驚キ畏レ頭
 ヲ地ニ着ケテ不敬ヲ謝シケレハ王曰何ゾ謝スル
 カアラン是レ不敬ニ非ルナリ人が人ノ急ヲ救ヘル
 ナリトテ別レ去キケリ
 「アルホンソ」ハ此ノ如ク仁惠寛大ナルカ故ニ衆多ノ

仇敵ヲ服従セシモ千戈ヲ動かサズシテ徳義ニ懐カシメタルナリ

③廢賞ヲ吝ムハ失誤ナル事

凡ソ百年以前英國ノ「アンソン」ト云フ人ハ全世界ヲ遍歴シタル高名ノ人ナリ其羈旅ヨリ本國ニ歸ルキ旅中隨從シタル僕突然トノ辞シ去ント請フ「アンソン」其故ヲ問フニ對テ曰他無シ君人ヲ使フニ一回モ賞言アルヲ聞カズ只人ヲ役使スルノミ

④「マリーカルレル」ノ変

「バツトロル」及「ホンソンビ」ハ「アイルランド」ノ貴婦

ニシテ「ウエール」州ノ邸舎ニ住ミタリ其下婢ニ「マリーカルレル」ト云フモノアリシガ幼少ノ時ヨリ此二婦ニ事ヘ忠信貞正ナリ共ニ本國ヨリ來レルモノニテ二婦モ亦之ヲ愛育シ交際朋友ノ如クニシテ毫モ隔意無ク最モ親睦セリ三人共ニ老タル時二婦一石碑ヲ建テ三人ノ銘ヲ彫鑿シテ一所ニ埋葬セラレシトテ望メリ久シカラズシテ「マリー」先ニ没シタリケレハ其墓ノ坎側ニ埋ミタリ二婦モ亦尋テ死シタルハ望ノ如ク同シ坎ニ埋ミ墓ラレタリ是ニ由テ之ヲ觀レバ人相慈愛恭敬スルハ闕クベカラザルナ

リ彼ノ三女ノ如キ主従ノ差等アレハ生涯朋友ノ如クニ交リ死後モ猶遠ク離ルニ忍ザルハ慈愛恭敬ヨリ致ス所ナリ

④ プランキユス主従ノ貞

往古羅馬ニ「クタクウヲース」レピジユス「アントニユス」ノ三人國政ヲ篡奪セシキ舊「コンシユール」名官「プランキユス」ヲ讐トシ「ヌラ」之ヲ殺サント欲シテ「カ」徒數名ヲシテ捕ヘシメントス「プランキユス」此難ヲ避ケテ密カニ暗所ニ潜ミケレハ兇徒手ヲ分チテ探リ索ムレハ嘗テ「カ」蹤跡ヲ得ズ其従者三人ヲ捕ヘテ之ヲ携

問スルニ皆知ラズト云テ敢テ主ノ所在ヲ告ケズ更ニ嚴シク責ヲ加ヘ死ヲ以テ却カスト雖モ猶前言ヲ變ゼズ此時ニ方リテ「プランキユス」其動靜ヲ窺ヒテ以為「カ」彼等ヨリ忠烈ノ輩ナレ我カ故ヲ以テ寛死セシメント「カ」遺憾餘リアリ不如命ヲ天ニ任カセ死ヲ刀及ニ委子彼等ヲ助ケンニハト徐々トシテ暗所ヲ出テ名ノリテ云ク我ハ「プランキユス」ナリ汝等速カニ我ヲ殺シテ其者等ヲ助ケヨ我死ストモ悔無シト兇徒主従ノ義氣ニ感服シテ竟ニ主従トモニ赦シタリ爾後世上ニ傳ヘ云「プランキユス」ハ忠烈ノ従者有

テ仁恤ノ名ヲ揚ゲ從者ハ仁恤ノ主ニ遇テ忠烈ノ名ヲ得タリ

⑤ 從僕生命ヲ捨テ其主ヲ助ケタル事

紀元千七百七十九年ノ冬「名」ト「爵」トボトツキ其妻ト共ニ馬車ニ乘リテウヰヤ「オハスタリ」ナヨリクラ「ヤノ都」ニ趣キシニ途中ニシテ一群ノ狼後ロヨリ來リケレバ從者之ヲ見テ大ニ驚キ逃ケ去ルベキ方便モナカリケレバ車ニ繫ゲル馬一匹ヲ解ラ狼ニ與ヘ其間ニ衆ジテ遁レ去ント圖リケレバ「ボトツキ」之ニ從ヒテ殘レル馬ヲ駈リ車ヲ急ガシタリシカ狼ハ馬

ヲ食ヒタレ氏血ニ飲ザルモノユエ再ヒ車ヲ追テ慕ヒ來レリ「ボトツキ」主從ハ危險已ニ迫リタレバ厲シク馬ヲ奔ラセ既ニ「ゼー」トル邑ニ近ヅク「一里」バカリナルニ悲シヒ哉馬已ニ疲レテ進マス此形勢ヲ見テ群狼益嗥リ狂ヒテ競ヒ來レバ亦如何トモ為スベカラズ各半死半生ノ思ヒヲ為セリ時ニ從者號ンテ云ク今此危難ニ罹リテ三人此ニ死ンヨリ寧口僕獨コ、ニ止リテ身ヲ彼レニ與ヘ食ハシメン願クハ僕没スルノ後僕ガ妻孥ヲ恤ミ養ハン「フ」ボトツキ其忠烈ヲ感シ憐ミ暫時猶豫ナシタレドモ勢ヒ止ムヲ

得ズシテ後事ヲ天ニ誓ヒテ彼從者ヲ殘シ車ヲ驅リ
遣リケレバ群狼從者ニ飛ヒカ、リテ貪リ食ヒケリ
此隙ニホトツキ夫妻ハ僅カニ難ヲ免レテセトル
ニ達シタリ是ヨリ後常ニ彼從者ノ忠ヲ忘レズノ契
約ノ如ク永ク妻子ヲ撫育シ遣ハシケリ

第四勤勞

造化主ノ世夷ヲ創造スル之ニ万物ヲ賦與シテ人民
ノ為メニセザルハナシ然レバ天稟ノマ、ニシテ世
用ニ適スルモノ稀ニノ盡ク人間ノ製作鍊鍛ヲ歷テ
後世用ニ適スルナリ穀物ヲ収ムルニハ先ツ種ヲ下

シ耕耨シテ獲リ諸金ハ鑛ヲ掘リ爐ニ溶シテ器械ニ
造リ麻綿ノ紡キ織ル等皆人力ナリ萬物總テ天工ノ
素質ニ非ルハナク人力ノ製造ニ非ルハナシ是レ造
物主ノ人ニ賦與スル所以ナリ然メ多少ノ人力ヲ歷
テ始メテ世用ニ適シ無價ヨリ有價ニ趣クハ功勞ニ
由テ致ス所ナリ然レハ一人ノ富ヲ積テ一國ノ富ト
成スモ畢竟勉強メ智力ヲ活動スルニ起ルナリ故ニ
人ノ世ニ處シテ嗜欲ヲ遂ルハ心思ヲ磨キ勞力ヲ務
ルニ在リ
野獸ヲ搏チ菓實ヲ剥リ之ヲ衣食トシテ歲月ヲ送ル

モノヲ夷俗トス亞美利加ノ土人^カツフルス^南アリ^カノ
 人種^ノヲ一ス^タラリヤ^ノ人民是レナリ其^ト涉^セ世^ノ狀^態
 實ニ愍ムベク辛フシテ生ヲ保ツモノナリ平常ニ食
 糧衣衾ノ蓄積ナキユエ凶年ニ逢ヒテ饑^饉倒スル者多
 シ固ヨリ攝^ク養^クヲ知ラザレバ短命ニシテ生育少クナ
 シ今夷俗ノ地域面積ニ人口ヲ賦スレバ方一里ニシ
 テ僅ニ一人ニ過キザルナリ開化ノ國ニ至リテハ人
 民常ニ智ヲ啓キ體ヲ動シテ活計ヲ宜シクスルナリ
 是等ノ人ハ牛羊ヲ畜ヒテ田野ヲ耕シ家ヲ建テ船ヲ
 造リテ商ヒヲ為シ他邦ト貿易シテ有無ヲ通シ貨ニ

飽キ財ニ富テ夷俗ノ嘗テ味ハザル快樂ヲ取ルナリ
 日耳曼^ヒ瑞^マ西^ニ佛^ラ蘭^ン西^ス和^オ蘭^ラ英^イ吉^ギ利^リノ人民ハ世^界中^ノ最
 モ勉強勞作スルモノニテ最モ富厚ナルモノトス是
 等ノ國ノ人口ヲ地面ニ配列スレバ一方里ニ一百人
 ヨリ三百人ニ至ルナリ之ニ由テ考フレバ勞力苦作
 スル國民ハ懦弱^ガナル夷俗ヨリ繁華ニシ福分ヲ受ル
 モ亦多キ^ト明カニ知ルベシ
 國ノ富強ハ國民ノ耐忍勉強ヨリ致スモノナレバ一
 人ノ上ニ在リテモ亦然リ作業ヲ惰ルモノハ必ス貧
 ニシテ勉強スルモノハ活計ニ安ンズルナリ概シテ

云ハ、人ハ勉強ト正直トノ度ニ準シテ其職業大小
 トモニ繁榮スルモノナリ故ニ福分ハ必ス作業ヨリ
 得ルベシ是レ天然ノ條理ニシテ論ヲ俟ズ特ニ作業
 ナリテ人ノ要務トスベシ何レトナレバ人心神ヲ勞
 セザレバ旺氣萎凋シテ痴呆トナル肢體ヲ動カサ
 レバ筋骨弛軟シテ疾病ヲ釀ス然レノ勞動モ亦適宜ノ
 定度アリ勞ニ過キ動ニ過ルハ其弊怠惰ノ敗ヨリモ
 甚シトス凡ソ人ノ勞動ハ毎日十時間ヲ以テ極度ト
 ス知ラズニバアルベカラズ

① 農夫其子ニ遺訓シテ職業ヲ厲セシ良

一 農夫アリ將ニ死ナントスル片其子等ヲ病床ニ近
 ツケテ曰我汝等ニ遺コスモノハ數畝ノ田ト一區ノ
 葡萄園トノミ汝等之ヲ耕シ且培ツカヒ苟モ他ニ與フル
 勿レ此地下一尺ノ際ニ我カ秘藏スル寶物アリ汝等
 後來其由ヲ知ルベシトテ遂ニ息絶ヘタリ兄弟以為
 ク父ノ言ノ如キハ財寶ヲ地中ニ埋メ藏シタルニ疑
 ナシ發ヒラキ見バヤトテ日々ニ勉強シテ田地ト葡萄園
 トニ行き夫ノ財寶ヲ探リ索メントテ其地ヲ盡ク一
 寸ヅ、掘リ穿チケレトモ財寶ハ固ヨリ雜物ガニ看
 出サズレバ兄弟大ニ望ヲ失ヒ惆アキレ惑ヒケリ然ルニ

明年其地ニ産シタル収納前ニ比スレバ倍々ノ餘得
 ナリケレバ實ニ地中ヨリ財寶得タルニ均シ是ニ於
 テ兄弟感悟シテ曰父ノ秘藏ノ財寶トハ即チ土地ヲ
 墾開シテ耕耘スル結果ヲ云ヘルナリケリトテ喜ヒ
 アヘリシトナリ

②伊太里人クレシシ農業ニ勉強シタル事

太古ノ博士フリニ「カ」カノ奇談ヲ記シタリ
 伊太里ノ一部ニクレシシト云フ農夫アリシカ耕ス
 所ノ田野豊穰ナルト近隣ニ卓絶シタリケレバ他人
 之ヲ理外トシ竟ニ誣ヒテ妖術ナリトシ裁判所ニ連

レ行テ訴ヘタリ「クレシシ」乃チ強健ナル娘及ヒ精工
 ノ農具ト肥碩ノ牛馬トヲ出シテ云此娘ハ常ニ野ニ
 在リテ雜草ヲ刈リ除キ我ハ土地ノ燥濕肥糞ニ注意
 シ多分ノ収物ヲ得ントス君モ知ル如ク農具牛馬ハ
 耕作ノ便宜ヲ助クルモノナリ彼等訟フル所ノ妖術
 ハ此外ニ修法無シ彼等モ亦身體ヲ勞勤シ精神ヲ放
 散セズ功夫ヲ運ラシ順序ニ恃ラズ械器家畜ヲ使用
 セハ皆我カ妖術ニ同シカルベシ於是有司クレシシ
 ノ言ヲ賞シ今日此ノ如キ愉快ナル訟ヲ聞タリトテ
 上聞シテ「クレシシ」ヲ褒美シ益其業ヲ勸ケルトナン

③「フランクリン」小傳

「ベンヤミン・フランクリン」ハ北亞美利加「ポストン」州
 燭匠ノ子ナリ貧婁ニシテ幼ナキ時ヨリ「摺板」戸ニ身
 ヲ屬シタリ生來書ヲ好メ凡容易ク之ヲ求メ難ケレ
 ハ常ニ節儉ヲ守リ僅小ノ給金ヲ餘シ漸ク積ンテ書
 籍ヲ買ヒ學ヲ勉トムトイヘ凡更ニ其課業ヲ怠ル
 無ク一寸ノ光陰モ空シク費ス_ト有ラザリケリ十六
 歳ノ時此ヲ辭シテ「ヒラデリヒア」ニ行キ「ケイメル」ト
 云ヘル「摺板」戸ニ從フテ又其業ヲ勉メ「ダルガ」既ニシ
 テ敏捷ト勉勵トニヨリテ華麗ノ文章ヲ屬スルニ至
 ン

レリ此地ノ府尹其至精ヲ喜ヒ馬車ニ乘テ彼摺板戸
 ニ往キ「フランクリン」ヲ迎ヘテ共ニ歸り來リ大ニ賞
 物ヲ與ヘ饗應シケリ其後「フランクリン」英都龍動ニ
 行キ書舗ニ從フテ業ヲ修メ寸暇アレバ則チ學ヲ勉
 メ情ニ耐ヘ忍フ_ト實ニ驚クベシ他ノ同輩ハ酒ヲ嗜
 ミテ金ヲ費ヤシ之カタメニ腦髓ヲ損害シ神氣ヲ鈍
 クスルノ疾ヲ醸セリ「フランクリン」ハ敢テ酒ヲ飲ズ
 慎ンテ時ヲ用ヒタレバ身體強健ニシテ智識ヲ研究
 シ多クノ金ヲ蓋藏セリ二十歳ニ及ヒテ既ニ職業學
 術ノ精巧ヲ極メテ「ヒラデリヒア」ニ歸リ奮ト從屬シ

タル「ケ」メルト共ニ業ヲ開キタリ是時ニ方リテ「
ランタリン」ノ事務極メテ繁クニシテ毎日大紙一面
ノ活字ヲ植エ旁ハラ雜事ヲモ治メ勉強敏捷ナリケ
レバ近隣ノ人之ヲ信シ事アレバ必ラズ托セシユエ
マスク榮名ヲ得タリ又新聞紙ヲ編述シテ公刊セシ
カ善良ナル故ニ人争フテ之ヲ求メ終ニ萬邦ニ行ハ
ル、ニ至リ鴻益ヲ得漸々富ヲ積ミタレトモ節儉ヲ
守リ衣裘ヲ飾ラズ聊モ驕奢ノ態狀無ク德行ヲ傷ラ
ズ時トシテハ自カラ車ヲ曳テ市場ニ趣ク「アリ爾
後文房具ヲ賣リテ文庫ヲ設ケ「アールリ午ヤールド

アルマ子ツクト題セル書ヲ毎年一部ヅ、出板セリ
此書ハ文體精密ニシテ至要ノ論言及ヒ諸賢ノ確論
ヲ記シタルナリ已ニ如是才能ニ長スト雖モ尚其極
微ヲ究ント欲シテ職務ノ餘暇ハ學業ニ勉強セリ三
十歳ニ及ヒテ英名國中ニ夷キ「ヒラデリヒ「ア議院ノ
書記官トナリ明年進ミテ驛遞代官ニ撰舉セラレタ
リ於是益怠ラズ盡カシテ專ラ裨益ヲ計リ以テ國民
ヲ導キテ藝術學業ヲ勸メンガ為メ英達ノ學士ヲ集
メテ會社ヲ結ビ教ヲ弘メ又若年ノモノ、為ニ専門
學校ヲ設ケ又火災ノ急難ヲ紓メン為、火事請肩社ヲ

創立シタリ其餘國家之益ヲ計リタルヲ數多ヨリ爾
 後理學ヲ研究シテ紙鳶ノ方便ニヨリテ雷雲ヨリ電
 氣ヲ導キ初メテ雷電ト尋常^レエレキト同質ナルヲ
 知り^カ避^カ穢^カ線ヲ發明セリ此大發明ニヨリテ其名歐州
 ニ滿布シタリ稍老タル後合衆國獨立大戰ノ時謀主
 ノ一人ニ加ハリ公使トシテ佛國ニ行キ二三年滞在
 シテ亞ヲ援クルノ議ヲ遂ケ佛王ニ謁見シ幼ナキ時
 父ガ常ニ誦シテ教ヘタル汝勉強スル人ヲ見ルヤ其
 人必ズ王候ノ前ニ立ツヘシト云フ經典ノ語ヲ思ヒ
 出シ心中大ニ喜ビケルトナリ素ト貧賤ノ家ニ生レ

テ終ニ英名ヲ州内ニ赫^カカシ富貴衆人ニ超越シ快樂
 ヲ極メテ一世ヲ終リシハ勉強ノ力ニ出ル者ナリ
 豪傑世ニ出テ大業ヲ為シタルヲアレバ其人若何ノ
 然ルヲ得シカヲ質問スルハ人ノ常ナリ此問ニ應^コフ
 ルニ「フランクリン」ノ著セル書中ノ數言ヲ以テ足レ
 リ其語ニ云ク富ニ趣ク道ハ市場ニ行ク道ニ異ナル
 下ナシ必竟勉強ト節儉ニ依ル言ハ金錢ヲ無益ニ費
 ヤサズ時日ヲ空シク消セズ勉強節儉セザレバ何事
 モ成ラザルナリ事ヲ成ヌハ皆此二ノ者ニ在リ試ニ
 此二ノ者ヲ去ラバ青雲ノ志ヲ達セントスル只禮義

ト正直トノミニシテ外ニ路無カルベシ難シト云ハ
 ザルベケンヤ○又云ク勉強ハ福運ノ母ナリ天ノ萬
 物ヲ人ニ屬スルモ人ヲノ勞苦セシメン為メナリ○
 今日事アレバ必ス之ヲ今日ニ為ヨ明日ノ事ハ前知
 セザレバナリ○若シ從僕トナリテ主人懦弱ヲ以テ
 己ヲ着テ耻ヂザランヤ今自己ノ主人ナレバ丹ニ齧
 ミテ心ニ愧ヂザルベケンヤ

④「プー」ルリチヤールドノ抄出

君上ノ威ヲ以テ人民活計ヲスル時日ノ十分ノ一ヲ
 故ナクシテ徵募スルハ惡政ト名ヅクルナリ然シテ

猶ソレヨリ多クノ時日ヲ妨クル各人自カラ為ル惡
 政アリ懶惰是ナリ懶惰ハ疾病ヲ生スル源ニシテ命
 期ヲ促ス厲鬼ナリ之ヲ鋏器ノ用ヒズノ鑄腐スルニ
 譬ノ用ヒテ消滅スルヨリモ甚ダシキナリ日々ニ用
 フル鎰ハ輝キテ没ラザルヲ見ルベシ命ヲ愛ムハ人
 情ノ常ナリ然レバ時日ヲ空シク為ル勿レ時日ヲ費
 ヤサズメ事業ヲ積メハソレダケノ命ヲ延ルナリ生
 涯ニ何ホドノ長壽ニナルヲ測リ知ルベカラズ眠ノ
 時ヲ費ヤスヲ畏ルベシ狐ハ狡黠ナル獸ナレドモ眠
 リナガラニ餌ヲ得ル能ハズ十分ニ眠ヲ貪ルハ墓所

ニ甘心スルカ如シ如是貴キ時日ヲ空シク費ヤスハ
奢侈放逸ノ至リナリ失ヒタル時日ハ再タビ挽回ス
ル能ハザルナリ

凡ソ事ヲ量リ何レノ時ニ十分成ルベシト云ヘル所
ノ者其期ニ至リテ稍ヤク七八分ナルモノ多シ其二
三分ハ懶惰ト云フ睡魔ニ奪ヒ魅サレタルナリ因テ
人ハ起テカムルヲ要ス寐テ急ルヲ戒シム目前ノ勞
役ハ後來ノ餘計トナル懶惰生ハ萬事ヲ重難トシ勉
強生ハ萬事ヲ輕易トス心術異ナレバナリ試ニ者ヨ
晏ク起ル人ハ終日イソカハシラ怠惰トシテ夜ニ及ブマデ業ヲ果

サズ驚鈍ナル後ロヨリ貧窮ニ追ツカレテ浮世ノ旅
ニ行斃レルナリ汝ノ勤ニ勝テヨ勤ヲメ汝ニ勝シム
ル十時ニ向テ好ミ望ヲスルハ其間ノ時ヲ費スナリ
故ニ勵精スル者結果ヲ謀ラズ謀ルウチニ時勢ハ流
レ逃テカヘラザレバナリ人ハ天然ノ樂地ヲ領ゼザ
レバ手ヲ懐ロニシテ利益ハ得ラレズ設令ヒ樂地ア
リトモ徒ニ守リ居テハ衣食住ニ充ルヲ難シ
商ヒヲ勵ム人ハ貨財ヲ有ツ業ヲ勤ムル人ハ名譽ヲ
有ツ商ハ弘通ヲ貴ヒ業ハ博識ヲ貴ブ否ザレバ商モ
業モ世用ヲ補フニ足ラズ徒ニ其名アリテ其實ナキ

ナリ

饑饉ト云フ兇者アリテ常ニ人ノ門戸ヲ覘シキハ衆ニ衆
 シテ福ヒセシト窺ヘドモ勵精ノ家ニハ飢渴ノ防禦
 怠タラザレバ敢テ入ルヲ得ズ偶惰慢ノ家アレバ忽
 チ所ヨ得テ稀粥蒸羹ヲ掠メ貧苦ヲ増サシム故ニ其
 身財寶ヲ有セス富タル親族ノ助モ有ラズトモ勉強
 ハ福有ノ母ナリト知ルベシ
 萬物皆上天ノ賜ナリ人ノ勞ニ依テ多クシテ餘リア
 ルト少ナクシテ足ラザルトアリ懦夫ノ眠ル間深ク
 耕セバ賣ルベク貯フルベク穀物ヲ得ルナリ

事アリテ今日為シ果スベキヲ明日ニ延ス勿レ手足
 テ動カスヲ吝オシムナカレ猫モ爪ヲ出サズハ鼠ヲ捉ル
 能ハズ多事ニシテ己ガ任ニ堪ズト雖カキ畫リテ必ズ
 捐ル勿レ耐忍勉強ニ因テ意外ニ功ヲ成スモノナリ
 譬ヘバ點滴堅石ヲ鑿イカリテ鼠兒イカリ錨綱ヲ齒決シ鉞イカリ刀大木
 ナ倒スカ如シ
 人ハ片時モ間暇ヲ得ベカラザルヤト云フモノアリ
 予之ニ告テ曰ク汝間ヲ得ント歎セバ一時モ空シク
 過ゴスト勿レ事ヲ成シタル時間ガ汝ノ得タル間ナ
 リ向來ノ一分時モ計ルベカラザレバ何ゾ現在ノ一

修身小學

時ヲ空シク過ゴスベケンヤ

第五自勉自頼

人ノ衣食ヲ給シ志願ヲ達スルニ他ノ助カヲ借ラズ
已レニ備ヘテ之ヲ完全ニスルハ天命ニ順カフ所ニ
シテ衣食ノ互用ハ許サザル所ナリ人勤勞セザレバ
何物モ得ベカラズ勞苦シテ得ル富樂ハ堅固ニシテ
他ヲリ奪フベカラザルナリ故ニ幼童ヲ教育スル勉
メテ自作自給スルヲ習ハシムルヲ父母ノ要務トス
幼童ヲメ自ラ衣裳ヲ着セシメ自カラ手足ヲ洗ハシ
メ自カラ食ハシメ自カラ飲シメ苟モ傳母奴婢ニ依

頼セザラシムベシ且文字算法ヲ教ヘ學業ニ從事セ

シムルモ成人ノ後已レニ書計ヲ辨シ已ニ生活ヲ營

ヲクキサエウ

マシムルノ本ナリ人其身ヲ愛スルハ勉強シテ已レ

ナ補給スルニ在リ然レバ他人ニ親シマレ且敬セラ

ルハ自然ノ勢ヒナリ動カスベキ手足慮ルベキ精

神ヲ持チナガラ勞作ヲ嫌ヒ怠リ徒ニ勉強家ノ為セ

ル歡樂ヲ嫉ミ羨ムハ思ハザルノ甚シキナリ

①車丁「ヘルキユール」ニ助カヲ願ヒタル話

一車丁馬車ヲ御シテ小逞ヲ奔シガ車輪チツキ埴土ニ粘着

シテ動カザレハ直ニ地ニ坐シテ天ヲ仰キ「ヘルキユ

ル往古テ強勁ナル神ノ名ニ來リテ我ヲ助ケヨト念シケ
レバヘルルキユール應シテ汝坐セズノ起テヨ肩ニ車
軸ヲ擔ヒテ馬ヲ助ケヨ是レ汝カ願フ助カナリト云
ヘリ

③ 雲雀ノ話

麥秋ノ頃莖葉ニ巢ヲ架ケタル倉庚アリ雛ノ為ニ餌
ヲ齎シトテ起テ出ル時雛ニ戒メテ我在ザル中若事
アラバ之ニ注意シテ我ニ告ケヨ必ズ放心スル勿レ
ト吟付シ其夕ベ帰リ來リシニ雛鳥告テ云フ今日地
主イヒコ、ニ來リ麥ヲ獲ルフヲ隣人ニ乞ヒタルヲ聞ケ

リ其他ハ知ラズ母大ニ喜ビ少シモ憂フルナシ翌
日モ同ジク雛ニ戒メテ出テ帰リシ時今日ハ地主獲
リ入テ友人ニ托シタリト告ケレバ母鳥自若トシテ
云フ未ダ恐ル、ニ足ラズ又翌日ノ夕ベ雛ノ云ク今
日ハ彼人其子ト共ニ來リテ明日ハ他人ヲ頼マズノ
手自カラ獲ント決セリ母鳥駭キ云ク速ニ此地ヲ去
ラン彼レ朋友隣人ニ依頼スル間ハ毫モ恐レズト雖
凡自己ニ事ヲ為シニハ畏ズンバアラズトテ雛モ口
トモニ巢ヲ起テ去タリ

③ ロベルトイーンズ小傳

紀元一千七百二十二年スコットランドノ北ニロベ
ルトイーンスト云フ人不幸ニシテ孤トナリ貴族ナ
レ^レハ^レ十九歳ナレバ營生ノ便ナク亦如何^レハスル無
凡人斯ル不幸ニ會スル時ハ大抵親戚ノ撫育ヲ仰ク
モノナレ^レ特リ^レロベルトハ然ラズ親戚ノ重荷トナ
ランヨリ寧ロ爵位ヲ脱シテ民間ニ下リ自カラ勞シ
テ自カラ給セントテ歩卒ノ隊伍ニ加ハリタリ一日
屯營ノ門ヲ守リケルニ舊ト^レロベルトヲ知ル人^事幹
アリテ^レコロ子^ル館ニ會見セントテ來リシガ他ノ客
アリテ暫ラク入ル^トヲ得ザレバ門外ニ待ミテ彼ノ

番卒ト會話ヲナス中^レロベルトナルヲ察シタレドモ
知ラズ顔ニトリナシ頃^トコロ子^ルニ事談畢リテ后
戯レテ云ク君カ盛大高貴ナルハ帝王ニ勝レリ帝王
ト雖^レハ^レバ^レロ^ン名^ノ人ヲシテ番卒トナスモノ未ダ聞
ザルナリコロ子^ル異シ^テ其故ヲ問フニ^レロベルト
ノ事ヲ語りケレバ大ニ驚キ直ニ代卒ヲ遣リテ^レロベ
ルトヲ招キ足下ハ^レバ^レロ^ンロベルトナラズヤ何ノ故
ニ斯ル卑賤ノ業ヲ為ルニヤト問ケレバ^レロベルト謙
遜シテ其名ヲ告ゲ不幸ノ情ヲ慇懃ニ述ベタリ^レコロ
子^ル喜ンデ其志ヲ感賞シ他日必ス一面目ヲ著ス人

ナリトテ是日ノ當務ヲ免シ共ニ午飯ヲ喫シ美麗ノ
衣裳數種ヲ出シテ何レカ撰フ所ノ物ヲ足下ニ與ヘ
ント云フニ「ロベルト」辭シテ云ク我猶舊衣ヲ藏セリ
功ナキニ賜ヲ欲セズトテ遂ニ受ケズ其後「ロ子ル」
「ロベルト」ノ行狀正シクノ善ク務ヲ勉ムルヲ賞シ舉
テ補備役ト為シ女ヲ以テ之ニ妻ハセ好ミヲ結ビ夕
リ後「ロベルト」一女ヲ産シテ公爵「ララルベス」ニ嫁シ
一族富貴ニ世ヲ終レリ

④來往ノ別

一豪農アリ一年ノ収納二百ポンド
「金貨ノ量二ポンド」ノ
「我五兩ニアタル」ノ

田地ヲ有スレ凡生來懦弱ニシテ逸樂ニ耽リ勞作ニ
怠リ竟ニ莫大ノ債ヲ負ヒケレバ其地ノ半分ヲ賣リ
テ之ヲ償ヒ殘ル半分ヲ二十一年ヲ限り他人ニ貸シ
地代ヲ以テ貸シキ活計ヲ營ナミシガ期限滿ントス
ル時假リ土地主ノ家ニ來リ彼地ヲ我ニ賣與ヘヨト
議シケレバ主人異ンテ云ク我曩者ニ有シタル地ハ
今汝カ耕ス地ニ倍シ且地代ヲ出ス「ナシ」然ルニ日
々月々ニ貧ニ迫リ終ニ半地ヲ賣ルニ至レリ是ニ反
シテ我地ヲ買ント云フ「如是大差アルハ將若何ゾ
ヤ答テ云ク汝モ亦往來ノ説ヲ聞ケリヤ汝ハ室内ニ

安燕シテ飲食ヲ貪リ衣服ニ奢リ勞役ヲ人ニ讓ル是
レ財ヲ往カシムルナリ我ハ然ラズ夙ニ起キ夜ハニ
寐子勞役ヲ嫌ハズ是レ財ヲ來ラシムルナリ汝子ガ
往カシムルハ我ニ來ルナリ得失相反スル所以ナリ

第六精神存在

凡ソ人好シテ危難ニ近ヅク者有ザレハ不虞ニ災害
ニ罹ルコトアリ遠慮アリト雖凡兼テ之レガ備ヲ為ス
ヲ得ズ一ニテ舉グルニ爆炭ノ衣服ヲ焦シ火災ニ家
屋ヲ焼亡シ或ハ馬車ノ馬ノ逸スル船ノ颶ニ逢フ等
俾怯ノ人斯ル災害ニ會スレバ恐怖狼狽シテ愈難ニ
多ク

陷リ身ヲ傷害シ甚シキハ死ヲ致スコトアリ之ヲ免カ
レント欲セバ必ス心ヲ鎮メテ漫ニ恐怖ニ過ル勿レ
是レ精神ヲ固持シ存スルモノニテ人ノ一徳ト云フ
ベシ
服スル衣裳ヲ焦シタル時ハ瞬間ニ肢體肌膚ヲ火傷
スルモノナリ他人ノ手ヲ假ラズシテ身ヲ横ニ倒シ
テ反轉スベシ或ハ側ニ絨氈アラバ直ニ之ヲ取りテ
身體ヲ纏包スルモ亦佳トス
火ヲ被リタル家ヨリ遁レ出ントスルニハ立歩スベ
カラズ匍匐スルヲ佳トス立ツモノハ炎烟舞騰シテ

呼吸ヲ壓塞スル患アリ匍匐スルモノハ純良ノ空氣
 沈ンテ下ニアレバナリ
 游^{オヨ}汨ノ術ヲ知ラザル者水中ニ墜ル時ハ徒ラニ身ヲ
 轉倒シテ溺死スルモノナリ神氣ヲ鎮メ両手ヲ啓キ
 仰キテ口鼻ヲ上ニシ水ノ注キ入ルヲ防ク時ハ敢テ
 沈没スルコトナシ水肺臟ニ入ラザレバ身體ハ水ヨリ
 輕キ故ナリ然シテ救ヒ人ヲ待ツベシ
 馬車ニ乘リテ馬ノ驚キ逸スルコトアリ心膽ヲ安定シ
 テ機會ニ注意スベシ恐怖ニ過ルコト勿レ少^{シラ}時ニシテ
 自カラ止ルモノナリ若シ危險切ニシテ舟車ヲ下ト

欲セバ初メ舟車ニ乗ル其舟車ノ進力ヲ身體ニ受
 ルノ定度ヲ知リテ穩カニ車ノ後方ニ向ヒテ墜ルヲ
 要ス然ル時ハ打撲ノ患ヲ輕クスルナリ

○火災ノ時ニ婦反對ノ例

一家ノ婦人深夜熟睡シタル時失火有テ已ニ其衣服
 ノ燒ケルニ驚キ覺テ樓階ノ下ニ馳出テ狼狽甚シク
 シテ樓上ニ幼兒數人乳母ト共ニ卧シタルヲ忘レテ
 市街ニ奔リタリシカ漸ク其子ヲ思ヒ出シ急キ立還
 リケレトモ火勢熾^{サカ}ニシテ其家已ニ灰燼トナリ愛
 子乳母皆焚死セリ○又一婦アリ樓上ニ眠リシカ下

室ヨリ火ヲ失シテ燃上リ床下ノ烈光ニ驚キ覺タリ
良人直ニ戸ヲ開キ遁レントセシヲ婦火烟ノ迸奔セ
シヲ恐レテ之ヲ止メ徐カニ幼兒婢女ヲ起シ兒ヲ
毛絨ニ纏ヒテ樓ヨリ下シ婢ニ托シテ先ツ遁サシメ
后良人ト共ニ樓ヲ下リ火ヲ避ケタリシガ繼テ床板
燒墮タリ

③ 少女疵傷ヲ救ヒタル吏

一農父野ニ出テ禾ヲ獲ル片過チテ腕ヲ切り動脈ヲ
傷リケレバ鮮血迸射シテ止ラズ幾ト命ヲ失ント
スルニ至レリ之ヲ救フ鑿方ハ疵ノ上部ヲ緊綁スル

ナレハ近傍ノ人驚キ狼狽シテ如何ニスルヲ知ラ
ズ空シク手ヲ束子テ立居タリシカ一少女アリ急キ
近ツキヨリテ已レノ脚衣ヲ解キ疵ノ上部ヲ綁リテ
此危険ヲ救ヒタリ幼稚ヨリ物ニ心得サスルハ親師
ノ教ニ因ルモノナリ

③ デウエルノ吏

ジョルジ一世第二世英國ニ王タルキエジブルウ
ドット都名ニテ茶砂糖或ハ園ノ種子ヲ賣ルデ
ト云ヘル人常ニ大數ノ商品ヲ店下ノ窰ニ藏シタリ
一日石鹼ヲ取り出サンヲ下婢ニ命ジタリシカ燭

臺ヲ用ヒズレテ手ニ燭ヲ持テ窖ニ下リ石罅ノ函ヲ
揚ントスルニ燭ヲ側ラニアル黒キ種子ノ苞ノ間ニ
挾ミ置キ両手ニテ函ヲ抱ヘテ出シケレバ主人之ヲ
見テ燭ヲ問フニ婢ナニゲナク荅テ黒キ種子ノ苞ト
思ボシキ間ニ置キタリト云ヒケレバ主人直ニ是レ
火藥ナルヲ知リテ大ニ驚キ若シ燭心ヨリ一點ノ
焰塵墜ルカ或ハ燭ノ燃盡クル片ハ瞬間ニシテ近隣
ノ人家ヲ災センヲ必セリ然レモ燭ヲ取り去ントセ
バ動搖ノ響キ焰塵下墜シテ已レヲ滅スノ患ヒ無キ
ニモアラズトテ且ツ畏レ且ツ危フミ須臾猶豫ナシ

タレドモ捐置クベキトニ非レバ竟ニ膽氣ヲ厲マシ
テ窖ニ下リサスガ事熟レタル老商ナレバ先ツ燭ノ
動靜ヲ視ルニ未ダ燃盡ルニ至ラザレバ心ヲ安着シ
焰臺ノ墜シトテ恐レテ徐々ト歩ミ近ツキ其前ニ坐
ヲ占メ両手ヲ合シテ燭臺ノ形ヲ成シ指ノ間ニ燭
ヲ挾ミテ難ナク抜き去リタリ斯クスレバタトヒ焰
塵墜ルトモ掌中ニ障ヘテ毫モ災害ナキヲ慮カリシ
ナリ
テウエルノ如キ人火藥ヲ固封セズ置キタルハ甚ダ疎
漏ニシテ疑フベキニ似タレモ商賈繁雜ノ中ニハ一

失無シト云フヘカラス凡人モシ如是ノ失アラバ必
ス自他ノ災ヲ惹キ出スベキニ此人ナレバコソ事ニ
及バザリシナレ其器量想ヒヤルベシ爾後近邊ノ田
地許多ヲ購ヒ今ニ子孫其地ヲ有スト云

第七小心注意

凡ソ事大小トナク之ニ注意スルハ已レテ脩ムルノ
一助ナリ否ラザレバ日ニ學校ニ入り百卷ノ書ヲ讀
ムトモ一モ解リ知ル能ハザルナリ試ニ隣人ノ性質
如何又ハ彼所ニ何物アルヤ能ク之ヲ知ント欲セハ
必ス先ツ交接スル事物ニ注意スルヲ肝要トス

人ト為リ能ク諸事ニ注意スルモノハ預カシメ他人
ノ志情ヲ察シ何事ヲ為スニモ斟酌小心シテ取テ人
ヲ怒ラストナク互ニ親睦スルナリ是レ交際上至要
ノ事ナリ若シ此意ナクンバ禮義ヲ失ヒテ人叢中ニ
立交ル_{トナカ}トテ得ザルナリ

或ハ危難或ハ混亂ノ場ニ遇スル片小心注意ノ功德
最モ大ナリトス已ニ_レチルクニ_レ島ノ_レ渙父ノ中ニモ
暗礁ノ在處及ヒ洋中時々變スル_レ景况ヲ_レ精シク知ル
モノハ常ニ風波ノ災難ヲ免ル又微細ノ事ニモ注意
スル人ハ事體切迫ノ時タリ_レ足漏ノ人ノ如クニ患

七 駭カズシテ好機會ヲ握ルニ至ル一度誤ルトモ次
ノ方便ヲ以テ難ヲ遁ル、ナリ故ニ注意ハ一ノ扶助
ト云ヘルモ亦宜ナリ凡ソ人ノ生質小心ノモノアリ
疎漏ノモノアリト雖凡常ニ注意ヲ學ヒ習フキハ其
益亦大ナリ之ヲ忽カセニスベカラザルナリ

① 星學家カツセンヂ^ル幼稚ヨリ小心注意ノ事
星學家^ベトトルガツセンヂ^ルハ佛蘭西人ナリ博識多
才衆ニ超エ四歳ノ時椅子ニ上リ短キ教訓ノ章句ヲ
兄及弟ニ讀ク聞カセタリ常ニ天象ヲ望ミ見ルヲ好
ミ七歳ニ及ンデ星月ノ運動ニ注意シテ夜中外ニ出

テ眠ラザルヲ數々アリ一夜同輩ノ幼兒ト共ニ逍遙
シタリシガ片雲風ニ逐ハレテ進ミ行ヲ見テ他ノ兒
輩ハ皆月ノ動進ムト云ヘリカツセンヂ^ル獨リ然リト
セズ是レ雲ノ動クナリト種々ノ道理ヲ説キ聞カス
ト雖凡服セズシテ爭論シタリシガ終ニ同輩ヲ大水
ノ蔭ニ寄セテ枝葉ノ間ヨリ月ヲ見セ月ハ依然トノ
動カザルニ片雲ハ飄颻トシテ通過スルヲ徴シ知ラ
シメシカバ其言ノ是ナルヲ許シ已レノ非ヲ謝シテ
從ヒ服シタリ

② 米國ノ一土人ノ事

米國ノ一土人他ニ出テ家ニ在ザル間ニ干シ置キタル肉ヲ盗マレタリ何者ナルヤヲ知ラガレドモ其邊ノ景况ヲ精密ニ認メ心ニ點頭キ直ニ彼盜ヲ捕ヘントテ足跡ヲ逐テ行キタリ途ニテ人ニ逢ヒ汝若シ短銃ヲ持チ太キ尾ノ小犬ヲ牽キタル長ノ矮キ老タル白人ニ遇ハズヤト問フニ然リト答ヘタレバ喜ンデ是レ我カ索ムル盜ナリト云ケレハ其人異シミテ何ニシテ如是精密ニ盜ノ形狀ヲ得シヤト問フニ我レ肉ヲ干シタル下ニ石ヲ積タルヲ見テ長ノ矮キヲ知ル足跡ノ距離狭キヲ以テ老タルヲ知ル足指ノ外ニ

向ヒタルヲ見テ白人ナルヲ悟リテ土人ノ所為ニ非ルヲ知ル樹皮ニ小銃ヲ倚セ掛ケタル痕アルニヨリテ其之ヲ持シテ知ル犬ノ小ニシテ尾ノ太キハ砂ニ印シタル蹤ヲ摸シテ察シタリト答ヘタリ

③「カルロ」ノ少年水手ノ事

紀元千八百十一年十月スチルリン^{英國ノノ}「カルロ」ニ屬スル短艇「ルゼムブランド」^{地名}ノ海岸ニテ佛蘭西ノ捕敵船ノタメニ奪ヒ取ラレ乗リクミタル老少二人ヲ殘シテ他ハ皆囚人ト成シテ佛國ニ送り遣ハシ偕テ水手六人此短艇ヲ操リ已レノ國ニ帰ラン

トスルニ洋中俄カニ颶風起リ「フナルツ」ニ漂散セリ
此邊ハ佛人モ未夕航セズ彼老人モ何處ナルヲ知ラ
ズ且ツ夜色甚ダ暗クシテ油燭既ニ絶ヘ盡キテ船ヲ
行ルベキ方モ辨ゼズ唯風ニ從ヒテ漂ヒ泛ビタリシ
カ彼少年甫メテ十三歳ナレ既ニ此洋ヲ再度通過
シ意ニ知覺スル所アリテ頓テ燈臺ノアル小島ヲ見
テ「フナルツ」港ノ中央ニアル「インキキ」ナルヲ察
シ自カラ水表郷導ヲナシテ英國軍艦ノ泊スル「マル
ガレット」トホ「プ」ニ至リ其人ヲ請ヒ迎ヘ仔細ヲ話リ
テ彼兇徒ヲ投與シタリ兇徒既ニ風波ニ惱ミ疲レ精

神萎縮シテ亦如何^{ヒキタズ}ニ為スベカラズ匍匐シテ降人ト
ナリタリ是ニ於テ艇并ニ載物ヲ失ナハズシテ財主
ニ復シタリ助ケ無キ漂流ノ囚虜武器ヲ挾ミタル六
人ノ悍夫ヲ反テ囚虜ニ為シ貨物ヲ完フシ怨ヲ復シ
タルモ特ニ此少年ノ小心注意ノ切ナリ

第八謙遜

己レガ才能ヲ負恃シ己レガ事業ヲ贊美スル等凡テ
自カラ誇リ自カラ傲ルハ人ノ笑ヲ招クモノナリ勉
メテ卑下抑損シテ他人我ヲ賞スルトモ必ズ謙遜ヲ
旨トシ驕慢ノ色無ルベシ諸ノ功德ハ謙遜ヨリ進ミ

顯ハル、モノニテ驕慢ハ之ヲ害シ妨サダグルモノナリ
 就中突フベキノ甚シキハ當ラザル位級ヲ貪リ寡陋
 ノ見識ヲ張り自カラ欺キ人ヲ誣ウソルモノナリ虚飾ハ
 剥落シ易クシテ已レテ信ズルモノ無ク反テ相當ノ
 器量ヨリ下ニ見ラル、ナリ
 自己ノ言ヲ是トシ尚タカビテ他人ノ説ヲ非トシ謗ウソル
 勿レ他人ノ説我ニ於テ不達ナリト思フトモ或ハ正
 論ニシテ我誤ルアタラスト數々アリ億兆ノ人各其説ヲ異ニ
 スト雖凡自カラ其説ヲ至當ナリト思ヘルハ皆我レ
 吾カ説ヲ至當ナリト思フガ如クナリ此義ヲ能ク知

ルトチ人ノ一大事トス

○大學士ニエートンノ小傳

博識多能ノ人ハ他ヨリ貴トヒ敬ヤマハル、トモ反
 テ拙劣ノ者ヨリモ謙讓シテ誇ラザルナリ昔者大學
 士ニエートンナル者アリ幼稚ノ時學校ニ在リテ近隣
 ニ風車アルヲ見テ日ニ行テ之ヲ窺ヒ觀終ニ其構成
 及機關ノ景况ヲ細カニ察知シテ奇麗ナル風車ノ小
 規模ヲ做シテ之ヲ屋蓋ニ置キタルカ工作精巧ニシ
 テ機動ハ大ナルモノト異ナルト無ク衆人ノ目ヲ驚
 カセリ又一小車ヲ造リ鼠ヲ入レテ之ヲ轉バサシメ

タルガ是亦工夫ノ妙ヲ極メタリ其後友人ヨリ古キ
 函ヲ得テ之ヲ水時計ト為シ常ニ居室ノ側ニ置キテ
 自カラ之ヲ管シタルガ時表ヲ示ス丁精密ナレバ近
 隣ノ人時ヲ知ルニ之レニ依レリ「ニュートン」家ヲ去リ
 テ後モ此時計ヲ家ニ遺シテ久シク日用ニ適セリ
 「ニュートン」長シテ大學ニ入り專ハラ天體大氣水潮等
 ノヲ研究セシガ一日花園ニ坐シテ林檎ノ枝ヨリ
 隕ル見テ疑ヲ發シ彼ノ檜ノ隕ル原由ハ何ゾヤ檜ノ
 獨リ隕ルカ或ハ地ノ之ヲ引テ隕サシムルカト久シ
 ク此事ヲ考ヘタルガ終ニ物ノ地ニ墜ルハ地ノ引力

ノ然ラシムルモノニシテ是宇宙ノ一定則ナルヲ
 測リ知リ物ニ重サ有ルモ引力ノ多少ニ因ルカ故ニ
 引カテ一ニ重カト云フ萬物ニ互ノ引力アリテ形ノ
 大小ト相去ルノ遠近ニ從フテ強弱アルヲ確定セリ
 故ニ月ハ大ナル一球ト雖モ地ノ大球ニ引カレテ維
 持セラル、ナリ又衆星ノ其軌道ヲ差ヘズシテ蒼天
 ヲ回轉スルモ太陽ノ引力ニ依ルヲ發明セリ又初
 テ太陽ノ光ハ七色ヨリ成ルヲ發明セリ是等ノ世
 運ニ関カル至大至要ノ發明ニ依テ大名擢ズシテ今
 ニ鳴ナリ

「ニュートン」性質聰明才智ニシテ柔和温順學藝ニ通シ
 常ニ謙退ヲ旨トシ毫モ人ニ驕ラズ親切丁寧ナルヲ
 貴賤ノ別ナク喜怒色ニ頭ハル、トナシ嘗テ「ジアモ
 ント」ト名ヅクル小犬ヲ畜ヒタルガ一日書室ノ外ニ
 呼ヒ出セシニ彼レ机上ヲ跳ビ越ントシテ過リテ燭
 臺ヲ倒シ卓上ニ在ル過多ノ草稿ヲ焚キタリ之カ為
 ニ多年ノ苦心一瞬間ニ灰燼トナリタリ「ニュートン」此
 不虞ノ災害ヲ見テ惜ミ駭クトイヘドモ敢テ犬ヲ打
 チ懲サズ嗚呼渠レ已レガ過ニテ余カ心腸ヲ痛マシ
 ムルニ至レトモ自カラ之ヲ知ルニ足ラズト其マ、

ニ免シタリ大量推シテ知ルベシ生涯謙遜辭讓ヲ重
 シタルヲ死ニ臨メル時ノ言ヲ以テ知ルニ足ル其
 言ニ云ク余既ニ知り得タル學業ハ此後猶知り求ニ
 ト欲スル學業ト比スレバ僅少ニシテ取ルニ足ラズ
 千七百二十七年齡八十五歳ニシテ没シタリ

③「ヲクスホルド」大學ノ一生徒驕慢シテ耻ヲ
 受タル支

學士「ホルソン」驛車ニ乘リテ旅行セシ時車中ニ「ヲク
 スホルド」校ノ一書生婦人ヲ慰メントテ諷ニ古語ヲ
 話シ講シタリシガ「ホルソン」之ヲ聞キ起テ曰ク君今

「ソホクル」希臘文ノ書名ノ一部トカ話サレタルガ我其
 何レノ部ナルヲ忘レタリ願クハ之ヲ知ラセヨ生徒
 答テ今我カ説キタル如ク一語モ欠ケ忘ル、ナシ
 君廢學ノ後久シクナルヤト嘲ケリ誇ル間ホルソ
 懐中ヨリ「ソホクル」ノ小本ヲ出シテ何レノ部ナルヤ
 我ニ教ヘヨト云ヘハ生徒之ヲ取り數葉ヲ繰リ開キ
 テ暫アリテ我過テリ今説キタルハ「ソホクル」ニ非ズ
 「フリデス」ノ一部分ナリト云ケレバ「ホルソ」然ラ
 バト云ツ、又懐中ヨリ「フリデス」ヲ出シ與フレバ
 前ノ如クニシテ又謝シテ我今日ニ限り何故ニ斯ク

鈍ナルヤ再ヒ言ヲ誤レリ今將「ユ」チリ「ス」ノ書中ナ
 ルヲ念ヒ出シタリト云暗メケレバ「ホルソ」屈セ
 ズ又其書ヲ與ヘントスレバ書生大ニ驚キ遽テ、急
 ニ御者ヲ呼ビ曰ク車ヲ止メテ余ヲ下口セヨ車中ニ
 「ボテリアン」文庫ヲ懐ニスル人アリトテ面目ヲ失ヒ
 テ逃ゲ去リ笑ヲ轍ニ遺シ留メヌ

第九禮讓

人ハ各性質ヲ異ニシテ志向ヲ同フセズ若シ我意ヲ
 善トシテ主張スル氏ハ必ズ爭論ヲ生ズ是ヲ以テ交
 際上互ニ我意ヲ制セズンバアルベカラズ慎ンテ他

ヲ怒サミル言行ヲ以テ接スルヲ要務トス
 人間ノ交リ禮讓ヲ以テ相互ニ敬恭スルヲ常トスタ
 トヘバ書翰ヲ遣ルニ同輩ノモノナリト雖モ彼レヲ
 貴君ト云ヒ我レヲ從僕ト云カ如シ存實ヲ論スレバ
 不當ニ屈スレモ比必竟那的人ヲ悦バシムルタメニシ
 テ即チ禮讓ト云フベシ
 人一所ニ會合スル時坐ヲ讓リ他人ノ語ヲ待テ
 我が言ヲ發スルヲ禮トスハテ相互ニ謙遜シテ親切
 ナルヲ主トス然レモ人情ハ下リ難ク意ニ隨ヒテ
 謙讓ヲ嫌フモノ衆多ナルヲ疑ヲ容レズ然シテ人々

ラント欲セバ勉メテ之ヲ成サミルベカラズ何トナ
 レバ驕慢ニシテ人ヲ怒ラサンヨリ寧口少シク我意
 ヲ屈セヨ之ヲ為ルノ善不善ハ我心ニ問テ知ルベ
 シ且慇懃ハ必ス仁心ヨリ生ズ他人ヲ愛スルモノハ
 常ニ慇懃ニシテ言行一トシテ他ヲ怒ラス有ラサ
 ルナリ
 人心ハ常ニ外物ニ感ジ動カサレテ習ヒ染リ易キモ
 ノナレバ慎ンデ之ニ注意セズンバアラズ放蕩不軌
 ノ間ニ交ル人ハ常ニ粗暴ニシテ禮ヲ知ラズ儉勤禮
 ヲ守ル家ニアル人ハ心ヲ制シテ恭敬ヲ主トスルモ

ノナリ

禮讓モ他ノ徳ト均シク定度アリ恭敬ニ過ルハ猶粗
暴ノ如クニシテ過不及ノ弊等シキナリ故ニ真ノ禮
讓ハ節義アリテ追從ニ至ラザルナリ

○ペルシヤノ一農夫ノ吏

最モ賤シキ人ノ禮ヲ盡スヲ賞スルハ君子ノ最モ貴
キモノニシテ禮讓ヲ飾リテ賞酬ヲ求ント欲スルモ
ノハ最モ賤シキモノナリトス徒ニ廢賞ト禮讓トヲ
以テ貴ブニ非ズ貴フ所ノ要ハ禮讓ヲ盡ス心底ト廢
賞ヲ與フル誘導ニアルナリ故ニ大家十分ノ施惠モ

徒善浮薄ノ所行ナラバ貧人一片ノ赤心ニ如ズ英王

チヤルス第一世ハ人民ニ莫大ノ賜惠ヲ施シタレト
モ信義ナケレハ之ヲ喜フモノナシ反テ他王ハ別ニ
賜惠ヲ施サレレ信實ニ國民ノ情願ヲ聽容シタレ
バ之ヲ敬シテ喜バザル者無シ往古ペルシヤノ一農
夫偶其王アルタゼルゼスニ出遇ヒタリシガ獻ズベ
キ物モアラザレバ急ギ傍ノ河ニ行キ水ヲ汲テ獻ジ
タリ王農夫ノ狼狽シテ愚魯ナル真率ニシテ虚飾無
キヲ見テ且喜ヒ且笑ヒ恩謝シテ云汝ハ真成ニ仁人
ナリ斯ノ如キ人ハ容見何許醜惡ナリトモ志意ハ最

論語、學
四十一

上ノ君子ト云フベシ

◎佛王「ロイス」第十四世ノ支

佛王「ロイス」第十四世ハ性質英邁ニ過キタレバ哲王
タル美稱ハ得ザリシカドモ仁術ヒイテヨリ生ズル禮讓ノ
一話アリ王一族ニ戒メテ苟モ平人ヲ侮詈嘲弄スル
一ヲ嚴禁シテ云高貴ノ者平人ヲ嘲弄スルハ其害雷
電毒矢ニ中ルヨリモ尚甚シ一日太子ノ妃醜面ノ士
ヲ見テ我未タ嘗テ斯ノ如キ醜面ヲ見ズト其人ニ聞
フルバカリノ大聲ニテ嘲ケリケレバ王之ヲ聞キテ
色ヲ作シ叱リ制シテ云我彼ノ士ヲ國中第一ノ美男

トス彼レハ最良ノ軍士ニシテ頗ル豪勇ノ者ナリ急
キ汝ノ過言ヲ謝セヨト押シテ彼ノ士ニ伏サシメタ
リ

◎「エッヂソン」ノ説

謙退ハ上ヲ悦ハシ下ヲ懐ツケ同輩ノ交リヲ親シク
シ品位ノ差ヲ調シ論談ヲ和順シ社友ヲ愉快ナラシ
ム善心ヲ養ヒ仁術ヲ生シ弱ヲ助ケ強ニ克チ乱ヲ靖
メ暴ヲ挫ク然シテ文明ト表俗ノ境界ヲ分ツモノナ
リ

第十飲食節度

人健康ニシテ精カヲ保セント欲セバ老少ヲ論セズ
 飲食ヲ節シ適度ヲ過ス^{ホド}勿レ過レバ必ズ疾病ヲ生
 ズ多分ノ肉及ビ^{ホド}香竄ノ物品ヲ貪食セザルヲ佳トス
 是亦身體ヲ害シテ不治之病根トナルモノナリ
 適度ヲ守ラズシテ過食スルモノヲ饕餮ト云ヒ^{ホド}外
 ニ美味香品ヲ好ムモノ之ヲ窮奇ト云フ皆人ノ耻ト
 シ嫌フモノナリ夫レ人ハ食物ニ依テ生命ヲ保養シ
 之ガ為ニ快樂ヲ得ルト雖凡然モ過度ナルモノハ疾
 ヲ醸^{カキ}シテ困苦スルノ日多シ適度ヲ守ルモノハ身體
 爽快ニシテ恒ニ^{ホド}百事ヲ樂マシムルナリ

酒ハ其性^{ホド}燥ニシテ臟腑ヲ腐爛シ身體ヲ害スルノ
 ミナラズ過失ヲ為ス根原トナルモノナレバ嚴ニ避
 テ之ヲ用フベカラズ酒ヲ過シテ已レニ傷害ヲ受ケ
 ザルモノ無シタトヒ小量ト雖凡其害ヲ免ルベカラ
 ズ是レ平生人ノ知ル所ナリ諸種ノ酒何レモアルコ
 ールト云フ成分アリテ^{ホド}酩酊^{ホド}眩暈ノ原質ヲ含ミ以テ
 人ヲ醉シ乱ヲ為サシメ或ハ^{ホド}狂癡ノ如ク或ハ^{ホド}愚騷ノ
 如ク甚シキハ^{ホド}爭鬪ヲ好ミ人ヲ殺傷スルニ至ル^{ホド}縱^{ホド}ヒ
 如是ナラザルモ猶^{ホド}無根語ヲ多言シ醒メテ後悔ルモ
 ノ少ナカラズ故ニ少年輩ハ慎ンテ酒ニ近ツクベカ

修身小學

卷之上

ラズ初シメ小量ヨリ過分ニ上リ易キヲ恐レ顧ヘ
リミルベシ

酒客ト呼ハルハ最モ忌ムベキ惡名ナリタトヒ謹
直ニシテ醉狂乱行ニ及バズト雖凡人人ノ信ズルヲ少
ナケレバ職業ヲ任カスモノ亦少シ且金ヲ酒ニ費ヤ
シテ産ヲ破リ家ヲ喪フ故ニ類族モ疎ミ嫌ラヒテ口
舌絶ヘズ終ニ困窮逼迫シテ已レノ壽命ヲ促ガスナ
リ嗚呼歎ズヘキノ甚シキニアラズヤ

○「ロイスコルナロ」中年ヨリ飲食ヲ節ニシテ
健康ノ長壽ヲ樂シメル也

「ウエナイス」ノ一貴族「ロイスコルナロ」ハ放蕩ノ朋友
ト交リテ四十歳ニ至ルマデ過飲飽食シテ之カタメ
ニ常ニ多疾ニシテ快樂ノ日少ナカリシガ醫師ノ諫
説ニ従フテ惡習ヲ一變シ嚴ニ飲食ヲ節シタレバ其
効驗著ニシテ一年ヲ待ズレテ疾病悉ク治シテ健康
ノ人トナレリ之ニ因テ益適度ヲ守リ一日ニ實物十
ニ「チンス」淡薄ノ酒十四「チンス」ヲ用ヒテ定量トセリ
此量ハ稍少ニ過キテ恐クハ尋常ノ人ニ遠セザルベ
シ「コルナロ」之ニ依テ強健長壽ヲ樂メリ七十歳ノ時
誤リテ高キ所ヨリ墜テ手足ヲ打撲シタリシガ斯ク

老年且大傷ナレバ尋常ノ人ニ在テハ必ズ不具ノ廢物トナリ或ハ死ニ至ルベキニ不日ニ全治シテ故ニ復シヌ八十三歳ニ及ヒテ尚獨リ山ニ登リ馬ニ乘リ神氣活潑トシテ小説ヲ書キ間々兒輩ト共ニ翔リ奔リ戯レ遊ベリ九十八歳ニ至リテ安静ニ死シ後世ニ節度ヲ守リテ大壽ヲ得タル監戒ヲ遺セリ

③「ジャックシンプキン」酒ヲ絶テ家ヲ善クシタル吏

「ジャックシンプキン」ハ英國ノ「ホルトスモース」ニ役セル水夫ナリシガ若キ時酒ヲ過飲シテ傭銀ヲ之ニ費

ヤシ果シケレバ貧窮ニシテ妻子ハ敝衣ヲ着シ糟糠ニ飽カズ家ハ壞敗シ風雨ニ暴露シテ内ニ一物ノ蓄ヘナシ一日酒徒ト共ニ酔テ市街ヲ散歩シ偶マ守節ノ士ノ聚會セル家ニ過リタリシガ其中ニ温順ニシテ威風アル人飲食過度ノ失害ヲ説キ節度ノ功德ヲ講ゼルヲ聞テ酒氣未ダ醒ザレバ其言ノ是ナルヲ理會シ斷然酒ヲ止ンテ誓ヒ竟ニ名ヲ記シテ彼ノ會社ニ加ハラントテ願ヒタリル來律義ニ誓ヲ守リ酒店ニ跡ヲ絶チテ專ラ職業ニ勉メ家ヲ修シ妻ヲ憐レ幼兒ヲ教ヘテ小學校ニ入レ且少數ナカラ餘贏ノ金

アルニ至レリ此餘金ヲ疾病老耄ノ時ノ預備トシテ
 預金會社ニ托シ益節度勉強シテ稍ヤク佳境ニ入り
 タリケルヲ故ノ酒友妬ミ羨ヤミ口ヲ極メテ嘲弄セ
 リ是レ如何ナル意ゾヤ已レ放蕩ニメ敝衣ヲ着シ芋
 ヲ食ヒナガラ他人ノ節度ニシテ妻子ニ春服ヲ與ヘ
 甘美ヲ啜ラシムルヲ詭リ笑フハ拙劣ノ甚シキニア
 ラズヤ一日「ジャツク」途中ニテ舊友ニ遇ヒシカ於乎「ジャ
 ツク」ヨ汝カ節度ハ汝ノタメニ宜シカラズ知ラズヤ
 面色既ニ黃胖ノ如クナリ我レ舊好ヲ忘レズ忠信之
 ニ告ルナリト嘲リケレバ「ジャツク」懷中ヨリ會社ニ預

ケントスル黄金十二ヲ出シテ然リ汝能ク我カ懷中
 ナ見ヨ節度ハ面色ヨリ懷中ヲ黃ニスルナリト云ヒ
 ケレバ彼者大ニ窘メラレ終ニ舊酒徒ノ嘲笑ニ勝チ
 得テ再タビ謾侮ヲ受ザリシトナリ

第十一 健康保持

人身五臟六腑ヨリ諸部分ニ至ルマデ堅固ニメ其官
 能ヲ逞フスル者是ヲ十全ノ健康ト云フ胃腸強健ニ
 ノ飲食ヲ消化シ腦髓平安ニシテ神經ヲ機發シ心ハ
 血液ヲ巡還シ肺ハ空氣ヲ送迎シ皮膚閉塞セズ蒸氣
 通泄スレバ則チ一身健康ニメ不快痛苦ヲ知ルナ

ク百事ヲ營ナムトテ得ル是レ人ノ福ナルト至大ナ
リ夫レ全體ハ天ノ賜ナレバ機關ヲ損害セズ部分ヲ
健康ナラシムルニ注意スベキナリ之ニ反スレバ滿
腔カウ虛弱ニメ快樂アルトナシ今攝養ノ大略ヲ示スニ
飲食ヲ過シ貪ルモノハ腸胃ヲ損傷ス思慮ニ耽リ凝
ルモノハ腦髓ヲ耗散ス温暖ナル處ニ在リテ俄ニ風
ニ觸ルレバ皮膚シブ迫リ毛孔アノヲ塞サキ蒸発氣ヲ閉ヅル
等ノ如ク諸器疾ヒテ生ジ易ケレバ宜シク之ニ注意
スベシ凡ソ疾病ニ父母ノ遺毒ヲ受ルモノアリ他ヨ
リ傳染スルモノ是等ノ病ハ已レヨリ求メタルニ非

レドモ苦惱ヲ免レザルナリ其因ヲ原スルニ病毒ノ
ノ酷烈ナルモ攝養ノ謬誤ヨリ來ルナリ故ニ両親ノ
不攝養ヨリノ終ニ疾患ヲ子孫ニ遺ス諸種ノ傳染流
行病モ其起因ヲ推セバ必ズ沼池藪澤等鬱滯ノ地ヨ
リ發ス又大都會ハ人民稠密ニメ住居清潔カラズ或
ハ腐敗品ヲ食ヒ或ハ欠乏ニ逼リ或ハ身體汗垢シ沐
浴等閑ナル等ナリ之ニ由リテ見レバ攝生ヲ守リ健
康ヲ保ツハ特リ一身ノ為メナルノミナラズ子孫及
ビ他人ノ為ナリ
健康ヲ保持スル方法大略九ノ如シ

住居スル土地ハ乾燥ナルヲ撰ムベシ ○數回全身ヲ
 浴シ清潔ニスベシ ○一日ノ食量實物二十四^{タビク}ヲンス
 ニ下ラズ其中少ナク^{カハク}三^{カハク}四^{カハク}ヲンスノ肉ヲ用ユベシ
 ○毎日少ナクトモ一時間戶外ニ逍遙シ運動スベシ
 ○毎日八時間ヨリ十時間マデ適宜ニ心ヲ勞シ體ヲ
 動カシテ職事ヲ務メ其餘暇アラバ快樂シテ神氣ヲ
 慰ムベシ ○寢時ハ六時間ヨリ八時間ニ至ルベシ ○
 一飯ニ多ク同品ヲ食ヒ若クハ異種ニ過ルハ不可ト
 ス ○^{アラキ}慄^{ミキ}悍ノ飲液ヲ過用スベ可ラス ○一小時モ濕リ
 タル衣服ヲ着ス可ラス寒風^{キヤウ}透徹スル室ニ居ル可ラ

ズ ○^{イタ}痛ク心勞ヲナス可カラズ若シ不^イ幸ニ遇フトモ
 勉メテ神氣ヲ伸ベ憂愁ニ傷ラルベカラズ
 此ノ件々ヲ固守セバ世ニ疾病ノ患ナカルベシ然レ
 バ人間ノ吉祥^{イシク}幾許ナルゾヤ實ニ書記シ盡スベカラ
 ズ
 ○濕地ニ居住シテ絶ズ病ニ罹リシマ
 健康ヲ保持スル方法ヲ知レル婦人英ノ東部ニ嫁ノ
 住スルヲ訪ヒ行キシニ娣ハ性質良善ナレ^{イナカ}厩^{イナカ}遠ニ
^{スマカ}アルユヘ習俗魯直ニシテ攝生ノ方ヲ知ラズ一^{イナカ}家^{イナカ}族
 沼ノ鄰ニ住居シ其地卑クシテ冬ハ^{イナカ}厨^{イナカ}房ニ汚水一寸

モ上ルコアリ姉一家ノ安否ヲ問フニ姉答ヘテ此ノ
 一家ニ不吉ノ因アルヤランヤラス妾此ニ來リテ後醫療ヲ
 請フコ間斷ナシ曩者ニ夫ハ劇シキ麻木痺軟ヲ病ニ
 テ四肢幾タヘニド用ヲナサズ妾ハ常ニ感冒カゼヒキヲ患ヒテ治
 スルコナシ小兒ハ冬毒ニ頸項シキニ腫物ヲ生ス殊ニ去
 年ノ十月一家疫熱ニ罹リニ子一僕ヲ喪ヒタリ斯ル
 凶災ハ何ノ祟タガナル所以ヲ知ラズト歎ケキケレバ姉
 聞テ是レ汝が不幸ニアラス只不戒心ニアルノミ一
 家ノ病苦ハ他ナシ濕毒アル沼ニ接セル屋ニ住ムコ
 エナリ姉姉ズ他ノ良地ヲ撰ンテ移住センニト説キケ

レハ姉稍理會シ然ラハ明日ニモ他處ニ移住スベシ
 然レ凡若シ禍崇ノ予輩ニ續縁テ災スナラハ何ゾ處
 ヲ擇ハンヤタトヒ此處ヲ去ルトモ彼ノ禍崇ヲ禳ハ
 ガレバ甲斐ナキ所為ナラスヤト談ラヘバ姉答ヘテ
 汝ノ言ノ如ク災害處ヲ擇バスト雖凡是レハ其ノ類
 ニ非ス其ノ原由ヲ知リナガラ之ヲ避ケサルハ愚ニ
 アラスヤ凡ソ世ヲ涉ルハ何事モ天理ニ循ハサルヘ
 カラス攝生モ天理ノ一ナリ妾思フニ汝世ヲ涉ル法
 則ニ悖レリ一家疾病ニ苦シムハ只此ノ錯誤ノナス
 所ナリト理ヲ述ヘ非ヲ責ノテ辨解シケレハ姉服従

レテ竟ニ家ヲ移シタリ久シカラズメ夫ノ宿疾モ痊
治シ一家各健康ヲ樂シムニ至レリ

③ 飲食不化ヲ療スル最一方

英國海濱ノ一部ニ消化機不良ヲ治スルニ大名ヲ得
タル一醫アリ患者ヲ療ズルニ別ニ藥石ヲ用ヒス只
飲食ノ節度ト戶外ノ運動トヲ勸メタリアル日中年
ノ人來リテ治ヲ乞ヒタリケレバ之ヲ診見テ是レ富
人ニシテ進退常ニ車ニ乘リ榮耀ノ事何レモ辞サル
ヲ知り共ニ馬車ニ乘リテ數里ヲ駐_トヲ勸メ凡ソ五
里モ隔タリタル片鞭ヲ遺シ患者ニ下リテ取りテ得

サセヨト云フ患者車ヨリ下ルヤ否君步行シテ還ル
ベシト云棄テ家路ニ向フテ馬ヲ驅リタリ患者止ム
ヲ得ス步行シテ還リケルガ忽チ飲食ノ甘美ヲ覺ヘ
醫師ノ方便ヲ大ニ感シ爾後常ニ戶外ニ運動シタレ
バ終ニ病ヲ痊治シタリ故ニ運動ハ療法ノ最第一ナ
リトス

④ 壯者感冒ヲ押シテ死シタル事

新夕ニ創業シタル一少年劇場ヨリ還ントスル夕風
邪ニ感冒セリ翌日床ニツキテ少劑ノ藥ヲ用ヒタラ
バ後患ナカルベカリシニ課業ニ要事アリテ一日モ

卧褥スルヲ吝ミテ其日ヲ勤メタリ其ノ夕熱氣少シ
ク増シタレバ性質勉強堪忍ナル者ニヘ事トモセズ
ノ外ニ出タリ漸クニシテ頭部^{タテマハリ}焮熱スレバ苦痛モ覺
ヘザレバ未ダ危険ナルヲ知ラズ夜更テ又車ニ乘
リテ出行タルガ遂ニ聲音沈ミ嘔ルニ至リ猶々職事
ヲ勉メ居ルニ偶鑿者來リテ病証危篤ナルヲ診ヒ
平生ノ鑿ヲ招キテ治療ヲ乞フベシト告ケレバ心ニ
應ヒストハイヘビ黙止カタク之ニ從ヒ治療ヲ求メ
タレバ病既ニ重難ニ陥リタレバ百方スレバ寸驗ナ
ク數週間ニメ死失セリ此人ハ未タ若年ナレバ律義

ニメ能ク職事ヲ勉ムルユヘ親族ハ固ヨリ衆人ニ悼
惜セラレタリモシ病ノ初發ニシテ治ヲ如ヘハ斯クハ
大事ニモ及フマシキニ^{ワヅカ}僅少ノ時日ヲ吝ミテ終ニ一
命ヲ喪フニ至レリ慎マザル可ケンヤ

⑤ヒリッブ、シッドニールノ論言

飲食ヲ節ニシ戸外ニ^{アシヲハヒ}操歩シ適宜ニ勞役シ勉メテ心
痛ヲ少クベシ

第十二守分知足

満足ニ善惡ノ二類アリ人無病ニシテ神氣爽快肢體強
壯ナラバ分ニ應ジタル功德ヲ立ツベキノ理ナリ然

ルニ衣食住ニ^{汚穢}乏乏ヲ患ヘズ之ニ飽テ満足トス
ルハ不當ニアラズヤ抑人間創造ノ時萬物未ダ便宜
ヲ得ズモシ之ニ安ンジテ常ニ足レリトシテ今ニ至
リナバ世界悉ク夷俗ノ住處ニメ文明ノ地アルナ
シ
真成ノ満足ハ已レ十分ノ氣カヲ伸ベ貲財ヲ給スル
地位ニ安ンジ權利義務^{ヨキキ}懿範ノ外ニ出ズ若シ免レ得
ザル災害ニ遇ハゞ天運ニ委子テ堪ヘ忍ブモノヲ云
フ是レ称スベキ一徳ニシテ君子ハ常ニ茲ニ志スモ
ノナリ

己レガ氣カニ適スル分限ヲ足ラズトメ尚多キヲ貪
ルモノ之ヲ強欲ト云フ斯ノ如キ人時トメ僥倖ニヨ
リテ^溢富ヲナス^テアリ^ニ恐クハ永ク保チ難シ
猶過分ノ望ヲ起シテ己レガ器量ヲ知ラザレバナリ
アレキサンドル^ル世界ヲ掠奪シ終ル片此上略スル土
地ナキヲ憂ヒテ啼泣シタルガ如シ高位ニ居リ或ハ
有福ヲ占ルモノハ恒ニ危險ニ迫ル中等ニノ其分ニ
安ンズルモノハ平易ニメ害ヲ免ルナリ故ニ概シテ
云ハゞ得テ失フ^テ患ル困苦ニ堪ユルハ最モ難シ
ト雖^モ多キヲ貪リテ愈苦シムニ勝レリ然レハ満足

ヲ知ル良則ヲ心ニ銘シテ忘ルベカラザルナリ
○高貴ノ人ノ不足ヲ憂ル事

英國「ジョージ三世ノ時ニ方リテ「ヘンリー」ド
ダスト云ヘル高官ノ人アリ多ク國民ノ裨益ヲナシ
テ頗ル名譽ノ人ナレ「常ニ福アル事ナシ千七百九
十五年ノ除日ニ「ジョージ」ンク「レ」ナル者「ヘンリ
」ヲ訪ヒ來リテ此夜コ、ニ宿シ天明ニ起キテ新年
ヲ祝セントテ書室ニ至リケルニ「ヘンリー」印度ニア
ル英領ヲ堅實ニセンタメニ「アフリカ」ノ喜望峯ヲ掠
奪セン「」ヲ計リテ書ヲ闕シ居タルヲ見テ斟酌ナク

余新年ヲ祝セントテコ、ニ來レリ陽氣復夕回リテ
百花樂シム可シ豈ニ愉快ナラズヤト云ヘバ「ヘンリ
」暫クアリテ予今年ハ嘉祥アラン「」ヲ望ム昨年ハ
何タル幸ヒアルヲ覺ヘズト云ヒタリ「ヘンリー」ハ既
ニ進舉セラレテ已レガ右ニ出ルモノナク富貴権柄
身ヲ離レザレ「氏猶如是言ヲ出セリ「ジョージ」之ヲ聞
テ人情ノ耽欲甚シキモノトノ數々之ヲ謗リタリ

○學士「ソリス」ノ説

田舎ニ住スル信義ナル土豪及ビ農夫市坊ニ在ル昌
榮ナル商賈及ビ工匠ハ至貴至富ノ幸福ニ百倍セリ

士大夫ハ互ニ君寵ヲ妬ミ争ヒ或ハ上官ノ意ニ背キ
テ之カタメニ爵禄ヲ奪セラル、ノ患ヒアリ之ヲ譬
ルニ雷電常ニ高山ニ墮^トロキ鳴リテ時トスレバ高大
ナル樹ヲモ劈^キ倒スガ如シ質朴ナル農商斯ノ患害
モナリ又人ヲ羨^{ウラ}ヤミ嫉^ミムノ惡意モナク自カラ其分
ニ足レリトス是レ天命ニ順フ者ニシテ尚^ナクハ後世
ニ餘慶アラシ

③「モンダジヲン」ノ説

余ハ現在通常ノ費用アル片ハ之ヲ十分トシテ足レ
リトス非常ノ時ニアリテハ世衆ノ富ヲ用ユルトモ

得テ及ブ可ラザルモノナリ多福ハ人ヲ禄スルト思
フハ誤ナリ多福ハ反テ禍ヲ來スモノナリ

